

令和7年度

伊勢崎市立坂東小学校



学校通信

ばんどうたろう

坂東太郎



第 26号

令和7年12月24日(水)発行

校長 関根 崇史

【児童の皆さんへ】二学期を振り返って

今年度の授業日数は、一学期72日、二学期77日、三学期53日（6年生は51日）となっています。一番授業日数の多い二学期ですが、本当にあっという間に感じました。皆さんはどうだったでしょうか？ 二学期は、修学旅行、社会科見学、校外学習、運動会、持久走大会等々、数多くの行事がありました。これらの行事や普段の授業の様子から、皆さんが着実に成長してきていることがよく分かりました。そして、ものすごいスピードでいろいろなことを吸収し、心も体も大きく変化していく皆さんの姿から、自分も頑張ろうという元気をたくさんもらいました。本当に感謝をしています。

二学期の始業式に、皆さんに3つのお願いしました。覚えているでしょうか？ この「挑戦」「協力」「感謝」という3つの言葉を軸に、ぜひ今学期を振り返ってみてください。



1. 「挑戦」：一歩踏み出した自分を認める

今学期、皆さんは何に「挑戦」しましたか？ 大きな行事への取り組みやその中での役割、係や委員会活動での取り組み、日々の授業での発言や苦手教科の克服、これまでできていなかった生活の改善など、何でも構いませんので思い浮かぶものがあるでしょうか。「挑戦」とは、必ずしも成功することだけを指すものではありません。「今の自分にできるかな？」と不安に思いながらも、勇気をもって一歩踏み出したこと自体に価値があります。結果がどうあれ、挑んだことで得られた経験は、必ず皆さんの力となっています。

2. 「協力」：仲間存在に気づく

様々な行事、係や委員会活動、または日常の何気ない場面の中でも、「協力」することの難しさと素晴らしさを感じた場面もあったはず。一人では成し遂げられないことも、誰かと手を取り合うことで大きな力になります。自分一人の力で生きていくのではなく、「自分は、どんなことでみんなの役に立てるのか」「相手は、自分に何を求めているか」などを考え、力を合わせる。この「協力」の姿勢は、大人になったときに最も求められる力の一つです。

3. 「感謝」：支えてくれた人へ「ありがとう」の思いをもつ・伝える

そして最後は「感謝」です。皆さんが今日、こうして無事に終業式を迎えられているのは、自分の努力はもちろんですが、それを支えてくれた人がいるからです。衣食住不自由のない生活を送らせてくれた家族、アドバイスをくれた先生、競い合い励まし合える友達などなど。当たり前だと思っている日常の裏側には、必ず誰かの支えがあります。「ありがとう」という言葉を、ぜひこの節目に伝えてほしいと思います。



明日から13日間の冬休みが始まります。二学期に芽生えた「挑戦」の心を忘れず、周囲への「感謝」を言葉や行動にして表し、家族や地域の方々と「協力」して過ごす、充実した冬休みにしてください。そして何より、安全を心がけ、1月7日の始業式、ここにいる全員が無事に、元気な顔でそろそろことを心から願っています。